

自然観察 のスズメ

生徒・学生のみならず、暑い夏休みまったただ中、普段のエアコン生活から抜け出して、夏の自然を体感してみるのはいかがでしょうか？家の周辺を散歩するだけで、手軽に自然を満喫できますよ。

たくさんのお虫たちが飛び回るこの季節、網をはりめぐらせ虫たちを待ち構えているのがクモ。その中でも日本最大となるのがオオジョロウグモです。このクモは奄美諸島以南に生息しており、真夏には体長約5センチほどに成長します。脚が長いためとても大きく見えるのですが、それはすべてメス。それではオスはどこにいますか？

メスの網をよーく観察してみると、体長約1センチほどの小さなクモがいそうろうしているのがわかります。そう、これがオオジョロウグモのオスなのですが、メス1匹に対し、多いときには5・6匹のオスが同じ網に生活している場合もあるんです。メスグモはモテモテなんです。

メスの体はあざやかな色

をしているため、方言ではクガニ（黄金）クーパー、ウエーキ（金持ち）クーパー、またはイチユ（糸）クーパーとも呼ばれています。オオジョロウグモの糸はとても強く、セミのような大きな虫でも引っかかってしまいます。以前は子どもたちがクモの糸を竹に巻き取り、虫取り網として利用していたようです。また、クモ同志をケンカさせて遊んだという話もあります。

オオジョロウグモは、一度網を張ったらずっと同じ場所にいるわけではなく、エサが獲れないとすぐに別の場所に移動するため、翌日にはもう姿が見えない、なんてこともあるのです。

みなさんも、オオジョロウグモの巣をみつけたら、いったいどれくらい引越しをするのか、しばらく観察してみたいかがでしょうか？



セミに食いつくオオジョロウグモ